

新宿区民会議＜第4分科会会議概要＞

| | | | |
|--|----------------------------------|-----|---------------------|
| 名 称 | 第9回 第4分科会会議事録 | 場 所 | 新宿区役所第一分庁舎7階 研修室 |
| 日 時 | 平成17年10月23日 午後13時30分～午後15時30分 | 記録者 | 学生補助員 坂巻洋翠、三好加奈子 |
| | | 区担当 | 企画政策課 熊澤 |
| 出席者：38名 (区民委員：32名 学識委員：2名 区職員：4名 オブザーバー：0名) | | | |
| <p>■配付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回 第4分科会会議進行次第 ・第8回 第4分科会会議事録 ・新宿区区民意識調査 ・東京ガスの環境活動 <p>■会議内容</p> <p>[発言者]●：区民委員 ◎：学識委員 ○：区職員</p> <p>1、開会</p> <p>○：それではこれから第9回第4分科会の会議を始めたいと思います。まず、お手元に進行次第が配付されていると思いますが、そちらをご覧ください。リーダー会議でも協議いたしましたが、本日はこの次第にのっとって進めて参りたいと思います。では、最初にリーダーの方から会議の報告をしていただきます。リーダーの皆さん、お願いいたします。</p> <p>2、本日のテーマ</p> <p>☆リーダー会議報告</p> <p>●：10月14日にリーダー会議がありましたので、その報告をいたします。まず、各グループの進捗状況を発表し、本日の進め方について話し合いました。その後、11月の日程について意見を伺いました。そのほか次のような話題が出ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表には、なるべくメリハリをつけるようにすること。 ・会議終了後の後片付けについて、区の方に任せきりにするのではなく、区民委員が率先して片付けをすること。 ・各チームの活動で必要な場合は、区役所のコピー機を使わせていただくこと。 ・別のチームの活動を傍聴することは大いに奨励すること。 <p>以上です。</p> <p>●：最後のところで、日程についていくつかの案が提示されましたが、これに関しては、</p> | | | |

リーダー会議で決めるよりも、皆さんがいらっしゃるところで決めるのがよいのではないかとということで満場一致いたしました。それから、いつも机や椅子を区の方が片付けや配置など最後までして下さっているのですけれども、毎回区の方にさせていただくのは、この区民会議の本旨とは少し違うので、委員の方で早く来られるか、終わりに少し時間に余裕のある方が自主的に片付けてはいかがでしょうか、ということで、皆さんにもよろしくお願ひしたいと思います。以上です。

○：よろしいでしょうか。今お話にもありましたように、日程につきましては、グループワークが終わって、事務局からの連絡をする際に決めたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。リーダーの方、ご苦労さまでした。また次回、よろしくお願ひいたします。

それでは次に、環境に対する企業の取り組みということで、小宮委員のほうから、東京ガスの環境活動について、ご紹介いただきたいと思います。皆様拍手をお願ひいたします。

☆環境に対する企業の取り組み（東京ガスの環境活動・・・小宮委員）

●：皆様こんにちは。今日はお天気がいいですね。お手元に東京ガスの環境活動という冊子があると思います。パワーポイントを用意せず申し訳ないのですが、出来る限りわかりやすくご説明したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。まず、東京ガスについて簡単にご説明したいと思います。冊子1ページ左下をご覧ください。1885年に創立いたしまして、今年10月1日で120周年になりました。売上高が1兆140億円で、このうち都市ガスを使っている部分はその81.4%くらいになっております。また、ガスの販売量は一年間に11,934百万m³（2004年度）で、このうち家庭用が27%、商業用が24%、工業用が39%になっておりまして、残りは、他のガス会社に卸し供給しています。

また、供給エリアは1都8県になります。見開き真ん中にある社会動向と当社の取り組みのところですが、1971年に環境庁ができて、1979年に省エネルギー法が制定され、1996年にはISO14001が発行されました。このような流れで東京ガスは動いておりまして、1972年に始めて、公害対策室ができ、環境問題に取り組み始めました。1973年には環境管理室ができ、環境部が1992年にできました。2005年には東京ガス全社がISO14001を取得いたしました。このようなところが東京ガスの概要ということです。

次に天然ガスと環境ということで、ページは3～4ページになります。天然ガスの特徴といいますと、何よりクリーン性・供給安定性・低環境負荷・セキュリティー面などのメリットがあります。都市ガス供給ルートは下の図にありますように、供給過程でのロス極めて少なく、高効率な安定供給を実現しております。4ページでは、エネルギー需要見通しにおける天然ガスの位置づけについて記載しておりますが、天然ガスというものは、日本では欧米の約半分しか、現在使用されていません。今、地球のためにすべ

きことということで、環境性に優れた天然ガスの普及に努め、ESCO 事業の推進、地域冷暖房の普及、吸収式ガス冷房の普及、天然ガス自動車（NGV）の普及など環境対策に積極的に取り組んでいます。特に天然ガス自動車（NGV）は黒煙やSOxを排出しません。また、NOxの排出量についてもディーゼル車の新長期規制値の4分の1以下で、CO2の排出量も10～20%ほど削減できます。環境にやさしいNGVですが、天然ガススタンドが現在のところ少ないことが、普及しない原因となっています。

また10ページにありますよう、エコ・クッキングを推進しています。「身近な題材で、体験的に楽しく考えよう」というコンセプトのもと、買い物から料理、片付けに至るまで、環境に配慮した食生活を提案するエコ・クッキング講座を1995年度にスタートさせました。エコ・クッキングインストラクター養成講座も実施しております。ウルトラ省エネBOOKは人気がありまして、お客様にエネルギーをむだなく上手に利用していただくようなさまざまな方法をお伝えしています。

次世代への環境・エネルギー教育としまして、広報部では出張授業を実施しています。

「総合的な学習の時間」を利用し、当社社員が講師となって学校の教育支援活動を2002年度から行っています。他にも環境エネルギー館・ガスの科学館・ガスの資料館の3つで、ガスやエネルギー、環境について楽しく学ぶことができます。特にお子さんが多いです。

今年5月、長野県御代田町内に「長野・東京ガスの森」を開設しました。広さは約194ha。地元森林組合と協働し、将来にわたって継続的に森林保全活動に取り組んでいます。12ページ下のところにも記載しておりますが、政府が国民一人ひとりに温暖化防止を呼びかける“チーム・マイナス6%”にも賛同しています。

そのほか、外部団体・他企業との協働も積極的に進めています。地球温暖化防止イベントでは「環境戦隊ステレンジャー」に協賛し、企画運営に参画しました。JR東日本とは、前年に続きJR東京駅の窓口を使って、「ガス&レールウェイ」の展示を開いております。

コージェネレーション、風力発電、ガス導管工事での廃棄物対策、CO2対策、NOx対策にも貢献していきまして、廃ガス管はバインダーなどにリサイクルされます。

また汚染土壌問題へも自主的・積極的に取り組んでいます。汚染の可能性の高いと思われる30用地について、現地での土壌調査を実施し、そのうち26用地で汚染が判明しました。これらの用地の汚染状況と対策について、各自治体などの関係行政へ報告、マスコミへの発表、近隣の方々への説明など積極的な情報開示を行い、同時に必要な対策工事に着手しています。対策工事は2004年度末現在、1用地を除き完了した状況ですが、今後も責任を持って対応して参ります。

時間の関係上、簡単ではございましたが、以上でご説明を終わらせていただきます。

○：ありがとうございました。何かご質問・ご意見ございましたら、この機会にぜひどうぞ。

- （質問者）：今多くの人の関心というところ、自動車の燃料が挙がるかと思いますが、天然ガス自動車や燃料電池の普及についての展望をお聞かせください。
- （回答者）：電気自動車をメーカーが開発を進めていますが、今後10年間は無理でしょう。社会がいずれ天然ガスからつくられる水素エネルギーになっていくのではないだろうかと考え、水素自動車をトヨタやドイツの企業からリースしています。しかしながら、コスト面で問題が多いことが課題となっています。
- ：ゼロックス、小田急百貨店、東京ガスと発表をさせていただいておりますが、今後もそのような企業の環境への取り組みについてご説明いただきたいと思います。大手の企業だけでなく、中小企業等でもご紹介していただける方がいらっしゃいましたら、ゲストスピーカーとしてお招きできますので、ぜひお知らせください。

☆各チーム視察報告

＜環境と美化＞

- ：今回一緒に参加した私のほうから、環境と美化の視察報告をいたします。先週の土曜日に月島から佃島にいきました。

（以下、写真による説明）

これは、墨田川沿いに整備されたエリアでして、川に近づけるように作られています。リバーシティ21が川沿いに建っていました。子供が水際で遊んでいたり、ビオトープのように草を生やしてある箇所もありました。しかしながら、休日であるのにほとんど人がおらず、無機質な感じがしました。石田島は生活の匂いがしません。ホームレスもいないですし、大変整備されているのですが。川沿いで宴会を開いている人もいました。そこから一歩橋を渡ると、佃島・月島があって、先ほどとは様相が変わります。古い家が並んでいますが、チリー一つ無いきれいな町並みでした。中に広い道路が一本あり、あまり自動車が通らないため、子供や人が自由に往来しています。駄菓子屋や、小さな路地、井戸、住吉神社などがありまして、特に小さな路地は都会でみられるような物置が設置されておらず、ちゃんと人が通れるよう保たれています。また、橋から船宿を一軒みつけました。橋の反対側では、釣りを子供たちが楽しんでいました。道の途中にある公共トイレがきれいに整備されていました。最後に月島の町に戻り、吉田先生ご推薦の「麦」というお店でもんじゃ焼きを食べました。

- ：河川はとても整備されていましたが、人影がありませんでした。博物館にも行きまして、そこで舟を見ました。佃島は、住宅地の路地が吹きぬけとなっていて、その先が広い道路でした。きれいに保たれていることから、防災という点でも関心をもちました。北海道のように、ブロック塀が全然なく、住んでいる住民にとって安心感を与えると思

いました。このことを参考に、新宿区の防災についても考えていただければと思います。

＜環境教育＞

●：10月20日に津久戸小学校にビオトープを見に行きました。屋上に花壇が15㎡ありまして、非常に美しく自然が豊かでした。この屋上の建物の反対側のランチルームから見る事ができまして、とても贅沢な空間になっています。花壇は土を運ぶ段階から子供たちは作業を行い、裸足でやっていたそうで、その姿が実に楽しそうでした。工事費は約100万円だそうです。やはり排水設備の面での管理が大切なようです。

余丁町小学校の校庭の観察地にも行ってまいりました。3つの池のようになっています、スイレンを育てたところ、すぐにトンボの幼虫であるヤゴが住みつき、子供たちも観察を楽しんでいるとのこと。池の上には木がありまして、私たちが伺った際には、池の水が黒っぽく見えました。また、ザリガニが入っている水溜りがあり、石と浅い溜まり水の中にいました。

屋上に水田がありまして、50㎡の中に6つのエリアがあつて、すでに植えてあつた稲は、刈り取られていました。ここにはかなり大きなヤゴがいました。小学校の先生は非常に熱心に説明して下さいました。水田には鳥からの収穫物被害を防ぐため、ネットを張るそうです。児童の親はこのような取り組みを好ましく思っていない。なぜなら、算数や国語などの勉強の時間が無くなることに加えて、土に含まれるばい菌について不安があつたからです。子供たちの方かというと、最初は土に触れることをためらっていましたが、すぐに慣れて楽しんでいたとのこと。子供たちは、夏休みには枯れないように水をまいたり、鳥よけのため、網をかけたり、学ぶことがたくさんありました。稲の刈り入れの時などは歓声が上がったそうです。屋上は日当たりがよいので、植物の発育が良く、また雨水利用のため雨水タンクもあります。6つのスペースで合計3kgのお米が収穫でき、少し市販のお米を足して、おにぎりを作って、この取り組みをした5年生で食べるそうです。

こうした取り組みは、一人の情熱ある教師によってなされたことにも感心いたしました。心楽しいことは、実際体験してみないとわからないと思います。より多くの人に体験して欲しいです。こんなに大規模ではなくても、家庭の中で実践できればと思います。ぜひこのような機会をつくり広げていきたいと思います。余丁町の先生によれば、今までに2回の収穫をした際に地域のボランティアの方に手伝ってもらったそうです。地域の人を取り込むことが大切であり、自分たちのグループではそういうことについて考えていきたいです。

(参考として、新宿区のビオトープを実施している学校の地図を回覧)

●(意見)：大変結構なお話だと思います。屋上緑化はそれぞれのお考えでやるべきだと思います。総合教育の一環でやっているようですが、ぜひ教育委員会とタイアップしてやってみればよいのではないかと思います。

新宿区民会議＜第4分科会会議概要＞

☆グループワーク（約1時間）

各グループで議論。

☆グループ発表

＜緑化班＞

①本日の検討テーマ

- ・10月18日（火）に行なう集会所での話し合いの整理
- ・次回、次々回の会合について

②検討内容と結果

- ・公園については西戸山公園を材料とし将来に反映するような方策を考えた
- ・他地域での問題点を考えながら、榎・笹笥地区での実施を検討した
- ・街路樹について話し合う 実施できる道路の検討（区道）
- ・区民としての希望を強調 調査を行い報告書を作成。

③次回までの目標と課題

- ・街路樹問題を含む、榎・笹笥地域の問題点を検討
- ・地域環境報告書作成

※担当者不在に付き後日連絡

＜温暖化＞

①25日の現地視察の予定をどうするか

②検討内容と結果

- ・第1：板橋区エコアクションプランのヒアリング
 - 第2：省エネセンター見学
 - 第3：会議
- を今度（11月中）にする
- ・ある程度、資料がまとまれば一度話し合う

③次回までの目標と課題

- ・25日→交流の場で話し合い
- ・11月中→板橋区エコアクションプランに訪問

＜環境と美化＞

①本日の検討テーマ

生活環境（ハード）について、問題点の洗い出し、解決策を探る

②実質小1時間足らずなので、ほんの少ししか議論できなかったが、下記の論議をした

- ・狭い道の電柱の埋没について（とくに多く議論）
- ・狭い道の「すみ切り」について

新宿区民会議＜第4分科会会議概要＞

- ・職安通り、大久保通りの「におい」について
- ・24時間営業の弊害と自販機の規制
- ・狭い道路の安全と自動車社会の見通し

③次回までの目標と課題

11月18日（金） グループワークを18:00～区民会議交流の場で予定
テーマは「継続」

<資源循環>

①本日の検討テーマ

排出・収集段階について検討

②検討内容と結果

- ・ごみ削減目標値を決める
- ・古紙の分別徹底（新聞紙・ダンボールなど）
- ・生ゴミについて
- ・廃プラスチック分別収集について現場見学
- ・繁華街収集は民間に一本化

③次回までの目標と課題

10月24日廃プラスチックの分別について杉並区に見学に行く
朝 JR 高円寺の改札に集合

<教育学習>

①本日の検討テーマ

環境について学び深まっている推進委員やエコリーダーなどの方の活躍する場を地域に広げるために、リーダーを結集していくにはどうすればよいか

②検討内容と結果

活躍の場を提供できる社会システムを用意する→提言してゆく内容

区の講座を受けた推進委員・エコリーダーなどに、例えば環境インストラクターとして公園・学校の環境教育・その街の地域の案内役になってもらう

③次回までの目標と課題

<エコエコ>

①本日の検討テーマ

メンバーで分担した事例研究の発表

②地域通貨（エコ・マネー）について

- ・アトム通貨（早稲田・高田馬場地区。発行高等のデータを管理していないので詳細不明 評価が厳しい）
- ・北九州市環境パスポート（1000人規模の実験。焼成・市民・企業が一体となったプ

新宿区民会議＜第4分科会会議概要＞

プログラム ポイント制で個人及び全体の通知表もあり)

・多摩川源流通貨（水源地と流域住民の交流。経済的支援も行っている）

※民民関係での連携が大切。個人—企業—NPO

※、CO2の削減に結びつけたりなど企業をどのように巻き込むかといったシステム作りが大切

3、事務局からの連絡事項

次回以降の会議日程について、

第10回 11月5日（土） 13：30～15：30

区役所第1分庁舎 7階研修室

第11回 11月25日（金） 18：30～20：30

区役所第1分庁舎 7階研修室

※ 欠席の場合は事前に連絡をすること。

次々回以降の会議日程について、

第12回 12月9日（金） 18：30～20：30

区役所第1分庁舎 7階研修室

第13回 12月23日（金） 13：30～15：30

区役所第1分庁舎 7階研修室

第14回 1月13日（金） 18：30～20：30

区役所第1分庁舎 7階研修室

第15回 1月27日（金） 18：30～20：30

場所未定

※ 第14回の会議日程につきましては、1月13日（金）と1月7日（土）の2つの提案があったが、挙手による多数決により、前者1月13日（金）となった。

※また、リーダー会議の報告のとおり、会議終了後の片付けは会議出席者全員で行うことになった。